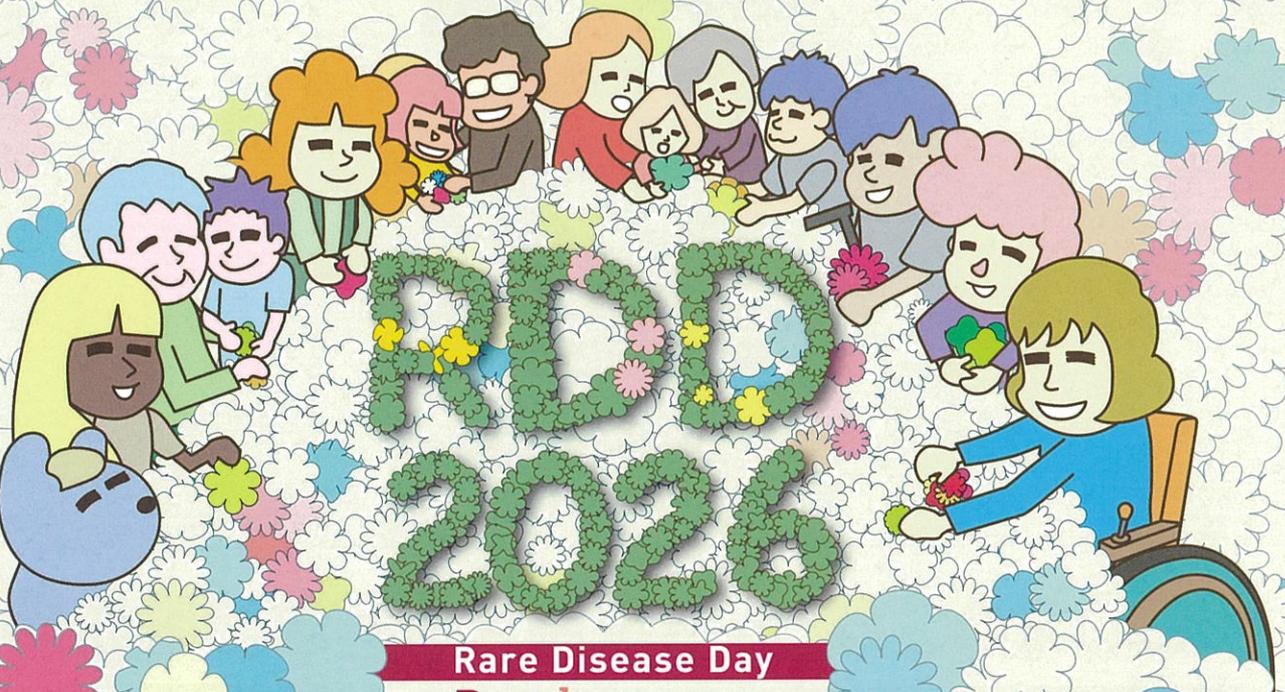


ともに、すごす。
 ともに、つくる。
 ときに、わらう。



Rare Disease Day
 Ready,
 Dialogue and
 Discovery

毎年2月最終日は世界希少・難治性疾患の日 (Rare Disease Day/RDD) レアディーズデー

RDD
 (アールディディ)
 ってなあに？

世界中の希少・難治性疾患の患者数をあわせると3億人と推定されます。しかし、一疾患ごとの患者数が少ないため病気についてわからないことも多く、診断機会や治療法、関係者や周囲からの理解などが不足している現状があります。

世界希少・難治性疾患の日 (Rare Disease Day, RDD) は、世界中の希少・難治性疾患の患者さんやご家族にとって、より良い診断や治療による生活の質 (QOL) の向上を目指す活動です。うるう年の「Rareな日」にあわせ、毎年2月

最終日が定義日となっています。2008年からヨーロッパでスタートした本領域世界最大の社会啓発イベントであり、日本でもその趣旨に賛同して2010年から全国で開催し、患者や家族同士、関係者らがつながる機会をつくっています。

RDD2026 in 名古屋大学医学部附属病院



専門センターの紹介・難病啓発パネル・患者会資料展示

入場無料 参加自由

図書館での難病書籍コーナー

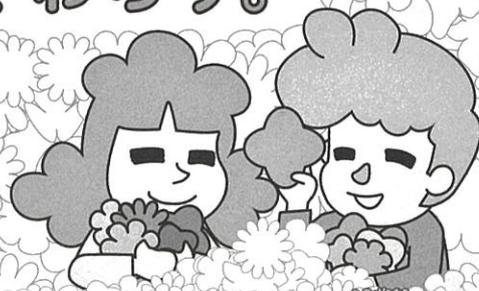
日時 **4/21 (火)**
 13:00~18:00

15:30~16:30
 ★難病専門センター
 による講演

場所 名古屋大学医学部附属病院
 中央診療棟 A 3階講堂

愛知県図書館 2/13(金)~2/26(木)
 名古屋市
 鶴舞中央図書館 2/21(土)~3/19(木)

ともに、すごす。
ともに、つくる。
ときに、わらう。



RDD
2026

Rare Disease Day

Ready,
Dialogue and
Discovery

RDD2026 in 名古屋大学医学部附属病院

専門センターの紹介・難病啓発パネル・患者会資料などの展示

入場無料 参加自由

15:30

~

16:30

- ・パーキンソン病総合医療センター
 - ・炎症性腸疾患治療センター (IBD センター)
 - ・神経線維腫症総合医療センター
 - ・てんかんセンター
- 難治性疾患診療部の各センターの役割や診療・支援体制

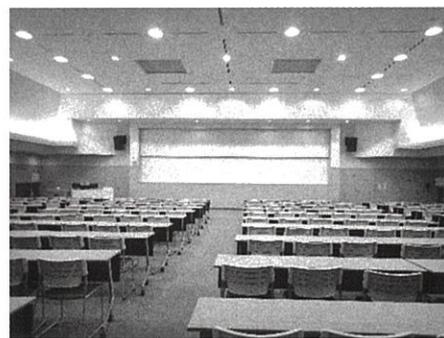
日時

4/21 (火)

13:00~18:00

場所

名古屋大学医学部附属病院
中央診療棟 A 3 階講堂



図書館にて
難病書籍展示

愛知県図書館 2/13(金)~2/26(木)
名古屋市
鶴舞中央図書館 2/21(土)~3/19(木)

主催：NPO法人愛知県難病団体連合会
共催：名古屋大学医学部附属病院
財団法人愛知難病救済アマチン基金



後援：愛知県医師会・愛知県・名古屋市・中日新聞社・中日新聞社会事業団
東海テレビ福祉文化事業団・愛知県医療ソーシャルワーカー協会
愛知県理学療法士会・愛知県作業療法士会・愛知県言語聴覚士会

